

第4回大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会 会議要旨

1 日 時 平成 27 年 3 月 25 日 (水) 午後 2 時～午後 4 時

2 場 所 此花会館 3 階 大ホール

3 出席者

(外部有識者)

上野 仁 (摂南大学 教授)

大藤 さとこ (大阪市立大学大学院医学研究科 講師)

杉本 久未子 (大阪人間科学大学 教授)

中地 重晴 (熊本学園大学 教授)

水谷 聡 (大阪市立大学大学院工学研究科 准教授)

岩井 政人 (此花区地域振興会 副会長)

神谷 和代 (此花区公害問題対策協議会 常任理事)

(環境省)

角倉 一郎 廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長

中野 哲哉 廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長補佐

(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)

東事業部長、油井大阪事業所長、峯岡大阪事業所副所長、土田大阪事業所副所長

(環境局)

柴田環境管理部長、有門産業廃棄物規制担当課長、谷野産業廃棄物規制担当課長代理

(部会構成員)

別紙「第4回大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会出席者名簿」参照

4 議 題

(1) 大阪 PCB 廃棄物処理事業の進捗について

(2) 環境モニタリング調査について

(3) PCB 廃棄物処理基本計画変更後の主な取組について

(4) その他

5 議事要旨

(1) 中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）から大阪 PCB 廃棄物処理事業の操業状況について説明があり次の意見等があった。

〈意見等の概要〉

(外部有識者) 今後の計画で、超大型トランスは大型解体室に全て入ると考えていいのか。また、今後搬出困難なトランスや、漏れ出ているトランス等が増えてくると思うが見通しはどうか。

(JESCO) 間口から入らない超大型トランスは、保管事業所で抜油、洗浄し PCB が外へ揮発しないよう措置を講じ切断解体した後、搬入するやり方を考えている。漏洩物については、これまでの経験では漏れ防止型金属容器を使用して運搬の安全性を担保する。できればさらにドラム缶に入れ密封あるいは VTR に投入時に使用する搬送ケースを使用し搬送してもらっている。今後、漏れている超大型トランスについては、できるだけ現場での拭き取りや補修によるさらなる漏れ防止等の措置を講じてもらうよう考えている。

(外部有識者) 現場で解体する場合に事前に周辺に通知するなどの措置はしているのか。

(JESCO) ビルの管理者等に通知し許可をいただいて作業をしている。また、作業者は基本的に保管事業者、収集運搬業者で JESCO は技術指導、知見を教える立場としてやっている。

(外部有識者) 来年度から始まるエリア間移動で計画的にどの程度受け入れるかは決まっているのか。さらに、大阪市の PCB 廃棄物を先行して処理するとのことであったが、9割程度に留まっている理由は大阪市交通局のトランス類があるためであり、今後どのような予定になっているのか。また、中間処理完了実績について、平成 26 年度から開始した運転廃棄物の処理についても数値化しないといけないのではないのか。

(JESCO) エリア間移動の受け入れについて平成 27 年度は概ね月次計画はできている。あとは詳細を詰めていくだけである。大阪市内分の処理は確かに 9割程度しか処理ができておらず促進させなければいけないと思っている。大阪市交通局や関西電力が持っている大型トランスが残っており今後処理を促進していくとともに、計画的処理に協力いただく。また、運転廃棄物については次回からどの物を何本どういう方法で処理したかを示すようにする。

(外部有識者) 安全教育講習について、どういう形で行われ、また、講師は誰がされているのか。さらにヒヤリハットの内容について変化はあるのか。

(J E S C O) 年間計画については J E S C O と運転会社で十分議論しテーマを設定しているが、その時起こっている事象に即応した形で臨機応変に変更し必要な教育を優先させて行っている。少数団活動をやっていて、各グループで討議し、年 2 回発表の場を設けている。講師は基本的に J E S C O と運転会社の社員で、年に 1 回程外部講師を招く。ヒヤリハットの内容の傾向はあまり変化はない。

(外部有識者) ヒヤリハットの件数で漏洩が 15 件あるがこれは設備の老朽化等に関する事なのかそれとも作業の形態上漏洩させるような何らかの誤操作があったことなのか。

(J E S C O) 漏洩の内容については改めて報告させていただく。

(外部有識者) 熱中症のトラブルで水分をとる頻度が 2 時間とか 1 時間半に 1 回とかで少ないように思えるが水分休憩とかの時間をこのように設定しているのであれば暑い日はもう少し頻繁にとれるよう設定してはどうか。

(J E S C O) 今のご指導を踏まえ今後に生かしていきたい。

(外部有識者) 作業従事者の健康管理で血中ダイオキシン濃度を超過した 2 名が他の作業員と違うような動作とかはなかったのか。

(J E S C O) 2 名とも解体班であり、うち 1 名はダイエットで体重が 15 キロ程度減っている。ダイオキシンは血液中の脂肪分が分母であるのでダイエットが関係していると考えている。また、全面体マスクのフィット状況の確認等を行い、解体班から別の班に移ってもらうことも併せてやっている。いずれにしても指導、対応を強化していく。

(外部有識者) 敷地境界汚水と雨水の排出源モニタリング結果でダイオキシン類濃度が前年度と比較して少し上がっているが、これは J E S C O の操業に当たるものなのかダイオキシンの異性体分布などで考察しているのか。また定期検査時における J V のトラブルで J E S C O と J V の関係できちんと雇い主として安全教育をどういうふうにすればいいか検討願いたい。

(J E S C O) ダイオキシン類の全異性体は分かっており、内訳からコプラナー PCB は 2.5pg-TEQ/L のうち 0.45 pg-TEQ/L で前回は 1pg-TEQ/L のうち 0.33 pg-TEQ/L で増加はしているが、全異性体に占める割合から行くとコプラナー PCB 以外のもののほうが多い。定期検査の度 J V の作業員が変わるのでその度入構教育をこまめにやっているが先生がおっしゃる趣旨を踏まえて今後やっていきたい。

(2) 本市から環境モニタリング調査について説明を行い意見等はなかった。

(3) 環境省から PCB 廃棄物処理基本計画の変更について説明があり次の意見等があった。

〈意見等の概要〉

(外部有識者) PCB 廃棄物の保管状況の届出をして毎年度公表するということが、PRTR のような地域ごとに公表するのか事業所ごとに公表するのか。

(環 境 省) 都道府県等に届出された情報は PCB 特別措置法に基づき公衆の縦覧の用に供するという形になっておりどなたでも閲覧可能。まず都道府県等で事業場ごとに全ての情報が公開になっている上で、私どもが都道府県等单位で集計し公表する。

6 会議資料

資料(1) 大阪 PCB 廃棄物処理事業の操業状況について

資料(2) 平成 26 年度環境モニタリング調査について

資料(3) PCB 廃棄物処理基本計画変更後の主な取組について

第4回大阪PCB廃棄物処理事業監視部会出席者名簿

府県市名	所 属	職 名	氏 名
滋賀県	琵琶湖環境部 循環社会推進課	参 事	谷口 秀治
大津市	環境部 産業廃棄物対策課	課 長	山本 哲
京都府	文化環境部環境・エネルギー局 循環型社会推進課	技 師	西岡 和久
京都市	環境政策局循環型社会推進部 廃棄物指導課	適正処理推進 担当課長	大西 亙
大阪府	環境農林水産部環境管理室 事業所指導課	課 長 課長補佐	児林 宏之 小田 重樹
堺市	環境局環境保全部 環境対策課	課長補佐	是常 文和
東大阪市	環境部 産業廃棄物対策課	課 長	本江 正興
高槻市	産業環境部 資源循環推進課	主 査	大橋 史明
豊中市	環境部 環境センター減量推進課	主 幹	澤田 宏三
枚方市	環境保全部 産業廃棄物指導課	係 長	佐藤 亨
兵庫県	農政環境部環境管理局 環境整備課	主 査	永富 砂和
神戸市	環境局 事業系廃棄物対策室	指導担当係長	上森 学志
姫路市	環境局美化部産業廃棄物対策課	係 長	池田 康政
尼崎市	経済環境局環境部 産業廃棄物対策担当	課 長	後藤 修志
西宮市	産業環境局産業環境総括室 産業廃棄物対策課	課 長	塚本 哲也
奈良県	くらし創造部景観・環境局 廃棄物対策課	課長補佐	村中 幸雄
奈良市	環境部 産業廃棄物対策課	課 長	山田 広司
和歌山県	環境生活部環境政策局 循環型社会推進課	課 長	鳴神 賢
和歌山市	市民環境局環境事業部 産業廃棄物課	課 長	原田 友志
大阪市 (事務局)	環境局環境管理部環境管理課 産業廃棄物規制担当	部 長 課 長 課長代理 係 長 係 員	柴田 昌俊 有門 貴 谷野 寛 中尾 寿伸 高木 慶大